

68 むら芝居の情報発信基地・はせがい

【き】 消防団がむら芝居を復活！

平成5年、消防団が地区の人たちの協力を得て、昭和50年ごろに途絶え、かつてむらのみんなを楽しませていたむら芝居を復活させました。その後、毎年公演を続けていきましたが、芝居のステージを備えた箸荷むらづくり館が平成14年7月に完成しました。それを機に、今後末永くむら芝居を保存していこうと、地区のより多くの方に参画していただき、同会を立ち上げました。



むら芝居の様子

【概】 全国むら芝居サミットの開催！

平成14年10月、これまでどこもやっていないことをやろうじゃないかと、第1回全国むら芝居サミットを開催しました。全国のむら芝居団体は、インターネットで調べたり、行政やマスコミに依頼したりしながら探し、呼びかけました。全国から6～7団体集まればいいかなと思っていましたが、15団体も参加してくれて、大盛況でした。その際、全国むら芝居ネットワークを立ち上げ、私たちはその事務局も担っています。

【成】 芝居を通じて広がる仲間

サミット以外に毎年10月に地元で公演を行っています。地域の人たちはとても楽しみにしてくれています。また、サミットを通じて多くの団体と仲間になることができ、今ではネットワークに21団体が参画してくれています。

【夢】 これからもサミットを続けていきたい

平成14年の第1回以来、サミットを毎年開催してきました。イベントがどんどん盛り上がり大きくなる一方で、受け入れ先の負担や開催資金など、新たに考えるべき問題が出てきています。

全国むら芝居ネットワークの仲間たちと協力しながら、課題をひとつずつ乗り越え、これからも全国むら芝居サミットを続けていきたいと思えます。よろしくご支援ください。

箸荷むら芝居保存会

代表者氏名：今中達治
 活動地域：全国
 事務所等：多可郡加美町箸荷73
 電話番号：0795-36-0707
 FAX番号：0795-36-0707
 ホームページ：
<http://www.haseshow.com>

とも
 に
 組
 ん
 だ
 団
 体
 等

全国のむら芝居仲間

ともに情報交換し、助け合いながら全国むら芝居サミットを開催しています。

活用した支援

地域づくり活動応援事業（兵庫県）



地元のお茶の葉を使って名物づくり

地元のお茶の葉を使ってつくった「はせがい紅茶」や、その紅茶をブレンドした「はせがい紅茶うどん」を地域の名物として販売し、活動資金に当てています。全国で地紅茶を販売している方と知り合いだったので、ノウハウはその方に教わりました。

特に紅茶うどんは全国で初めての商品ということもあって、マスコミにも取り上げてもらい、よく売れています。

全国むら芝居サミットでもそうですが、他がこれまでにやっていないことをやると、マスコミには取り上げてもらいやすいようです。



全国初の紅茶うどん



手づくりの準備を通じて一体感を

サミットを通じて多くの団体との交流が生まれ、そこから学んだこともたくさんあります。全国のむら芝居団体の中には、衣装から何から全部手づくりでやっている団体や、大道具係、小道具係など、それを専門に受け持つ人がいる団体、さまざまな団体がありました。

それに刺激を受け、私たちも手づくりでやろうじゃないかと、それまでお世話になっていた興行社の手を借りるのをやめ、平成15年から自分たちで中古の衣装を買い、化粧を覚え、演技を練習し、頑張っています。このプロセスを通じて、メンバーの一体感が一層確かなものになったように思います。

読者の皆さんへのメッセージ

毎年10月に開催しているむら芝居公演をぜひ見にきてください！おひねり大歓迎です。

むら芝居ってどんなの？と思われた方は、ぜひ、左にあるホームページにアクセスしてください。ホームページは毎日更新中です。むら芝居公演を録画した動画も配信中です！



集合写真